

I 目指す学校

1 目指す学校像

- (1) 底力のある学校 <組織力の向上>
- (2) 子供の可能性を引き出す学校 <主体的に自己を高める>
- (3) 家庭・地域と共にある学校 <社会全体の教育力を高める>

2 目指す児童像（教育目標）

- (1) よく考えて勉強する子ども（知）・・・重点目標
- (2) 思いやりのある清らかな子ども（徳）
- (3) 健康で明るい子ども（体）

3 目指す教師像

- (1) 社会の常識をもち、教育公務員として全体の奉仕者であると自覚し行動する教師
- (2) 常に研修に励み、指導力の向上を目指す教師
- (3) 家庭との連携を充実し、児童理解に基づいた指導により、個々の児童の成長を図ることのできる教師
- (4) 教育課題の解決に向け、組織的な学校運営に参画する教師

<服務について>

組織的な学校運営の推進と服務について

- (1) 各職種に応じた職務を適切に執行する。
 - ① 業務進行管理の点検・整理、業務進行の際の事案決定手順の徹底を図る。
 - ② 市の環境基本計画に基づき、コスト削減、資源節約に全教職員で務める。
- (2) 服務事故防止に努める。
 - ① 体罰や交通事故等の服務事故の発生を未然に防止するため、職員会議等において月1回以上、研修を実施する。
 - ② 私費会計及び、個人情報の取り扱い規定を徹底し、毎月の確認と改善点の検討を推進する。

II 中期的目標と方策

◎今年度の取組目標と方策 (1)教育活動の目標と方策 (2) 重点目標と方策を示す。本計画は、教育課程の重点事項を明確にしたものである。

構 想	重点事項	中期的な取組目標	目標達成のための具体的な手立て	指 標
学校の底力をつける <組織力の向上>	安全教育、防災教育の充実	児童が危険を予測し回避する能力等を高める。	○「日常的な安全指導」における一声（ひとこえ）指導の徹底を図る。 （都安全教育プログラムの活用） SNSによるネットトラブルの防止、携帯電話の家庭ルールの呼びかけを行う。 ○ 児童の発達段階に応じて「自助」「共助」の知識と実践力を高める防災教育の充実を図る。	○自己評価 ○安全に対する児童の意識の変化

	道徳教育、 キャリア教育の充実	特別活動等の充実と 再構築を図る。	○児童会、委員会活動、たてわり遊び等を通して、系統的にリーダー、フォロワー等の育成を図る。発表の場を工夫し、児童の自尊感情を高める。 ○自尊感情や自己肯定感を高める「いいところ応援計画」を発達段階に沿って1学年1実践継続して取り組む。（あったか言葉、ブレインストーミング、ボランティア、いいところ見つけ発表等）	○発表や活動の場を提供 ○自尊感情や自己肯定感に関する意識調査
	環境美化の推進	課題意識をもち、具体的に動くことのできる体制の整備を進める。	○教室、廊下の掲示物の工夫、花植え、栽培活動（大和田っ子ガーデン）等を通して、環境の変化に気付くよう、指導を工夫する。 ○ 集中し、日常の清掃活動ができるよう指導の徹底を図る。	○学校関係者評価、 外部評価
子供の可能性を引き出す 〈主体的に学び 自己を高める〉	GIGA スクール構想の推進 （授業改善）	組織として、質の高い授業づくりを目指す体制を構築する。	○授業の土台となる系統的な指導内容の徹底を図る。 ○校内研究を通し、ユニバーサル・デザイン等を意識した「わかりやすい教え方」への改善を図る。 ○新学習指導要領の意義を踏まえると共に、○J T指導体制や教職員の相互の学び合いを活発にする。	○児童による授業評価等
	生活指導の充実	授業規律の確立と基本的な生活習慣の定着を図る。	○児童理解、人権意識を基盤とした指導を通して、児童がより豊かな人間関係を結ぶための場づくりを進める。 ○聴く指導の徹底を図り、T P Oに応じた言動ができるよう指導する。 ○「特別の教科 道徳」の授業を要に道徳教育を積み重ねると共に、「いじめ防止基本方針」に沿っていじめ防止に努める。	○学校関係者評価
	特別支援教育の充実	組織的な指導体制を確立する。	○スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネーターを核とした校内委員会を中心に支援を検討し、授業レベルで個に応じた具体的な指導を進める。	○個別の指導方針の明確化
	体育、健康教育の充実	体力の向上と基本的な生活習慣の定着を図る。	○体力テストの分析結果を体育の補強運動に取り入れるなど指導を工夫する。 ○基本的な生活習慣の定着のため、あいさつ、歯みがき、早寝、早起き、朝ごはん等の重点実施期間を設け、家庭と連携し習慣化を支援する。	○翌年の調査結果 ○重点実施期間の達成状況
家庭・地域と共 にある学校づくり 〈社会全体の教育 力を高める〉	学校運営協議会との連携	学校の情報発信と学校運営協議会のより一層の充実を図る。	○学校だより、ホームページ等の作成を組織的に行う体制作りを進める。 保護者の意識啓発として効果的な活用を進める。 ○学校運営協議会を学校と地域の相互課題を検討する場としての機能をもたせるなど、保護者、地域と共に教育活動を推進する。	○目標更新回数、課題解決の過程
	地域と共にある学校づくりの推進	9年間の学びと育ちを地域と共に考える。	○授業改善につながる、小・中一貫教育のより一層の充実を図る。 ○幼稚園、保育園、学童保育、青少年対策育成委員会、スポーツや文化活動の団体等との連携を深める。	○学校関係者評価
	学び合いの場の充実	地域の協力者との積極的な連携を図る。	○学校司書を活用し、利用マナーを指導し、保護者と連携を図り、稼働率の高い学校図書館にする。図書ボランティア、学校司書と連携を図り、読書活動を活発にする。 ○J Aや近隣農家の方々の協力のもと、栽培体験を2・3・5年生で実施する。	○貸出冊数、実施回数、 児童の変容